

第115回 飛騨市新型コロナウイルス対策本部会議(結果)

日時:令和3年7月28日(水曜日)8時30分～

場所:本庁舎2階 会議室

1. あいさつ

第5波が鮮明になり、東京では感染者が過去最高2,848人となっている。気になるのは首都圏が軒並み最高レベルとなっていることではなく、地方でジリジリ増加していることが気がかりであり、岐阜県でも10人台で踏みとどまっている感じであるが、このままだと予断を許さない状況であり、8月上旬までかなり警戒をする必要がある。

県の発表では、都市部からの帰省や旅行中に発症した報告があり、実家に帰っての発症例もあり、家族や友人などの接触による濃厚接触者になりうるパターンが出てきている。こういった状況を踏まえると、宿泊施設の従業員や帰省がある家族への感染対策の必要がポイントとなり、かなり注意を払っていかなければならない。

特に8月上旬からお盆明けにかけては都市部からの帰省者がかなり予想され、ここをどう食い止めるかがポイントとなるため、市民に対しての強いメッセージが必要である。また、特に若い人の感染が多いため、若い人の帰省を特に注意した水際対策が必要である。

昨日、無症状PCR検査の無償化を発表したが数量が限られ、現在調整中の抗原定性検査の活用をどこまでできるかがポイントとなるため、大至急まとめて結論を出せるよう検討すること。

また、体調不良の場合は医療機関を受診するよう市民への呼びかけを行い、クラスター化を抑えること。

ワクチン接種については、新規予約を8月3日から開始することとした。今後はとにかく接種を進めることとし、9月中に2回目の接種が終わることができるよう進める。

2. 各種施策に対する各部からの実績報告及び連絡事項

[総務部]

・市税徴収猶予の納付状況について(7月26日時点)

[企画部]

・総合相談窓口について(7月27日時点)

- ・感染対策指導員について
- ・抗原検査キットの配布実績について
- ・職域接種情報について

[市民福祉部]

- ・無症状者に対するPCR検査について(7月24日時点)
- ・夏季限定無症状PCR検査助成の拡大による水際対策の強化について
- ・生活支援資金の貸付について
- ・新型コロナウイルスワクチンに係るコールセンターの対応状況について(7月26日時点)
- ・ファイザー社製ワクチン入荷・接種状況について
- ・ワクチン余剰対策事業「コロナワクチン大事にせんかなバンク」登録状況について(7月26日時点)
- ・高齢者交通費支援事業の利用実績について(7月25日時点)
- ・12歳~15歳ワクチン接種意向調査について(7月26日時点)
- ・16歳~64歳のワクチン接種意向調査未回答者への接種券発送について
- ・8月3日20時00分からのワクチン接種(40歳~59歳、8月16日~21日、23日~28日)予約の受付開始について
- ・12歳~18歳のワクチン接種計画について
- ・飛騨圏域大規模接種について

[農林部]

- ・ほうれんそう、トマトの出荷動向について
- ・飛騨牛枝肉価格の動向について

[商工観光部]

- ・団体提案型緊急経済活性化事業について
- ・緊急市民雇用奨励金制度について(実施期間:6月15日~12月31日)
- ・送料支援補助事業について(7月27日時点)
- ・インターネット広告販売促進事業について(7月27日時点)
- ・イベント出店補助事業について(7月27日時点)
- ・あんしんバス旅応援事業の申請状況について(7月27日時点)
- ・飲食店向けの消費喚起施策の検討について
- ・特産品等の物産展の検討について

[基盤整備部]

- ・第 2 回住宅リフォーム補助金の抽選結果について

[教育委員会]

- ・懇親会等の活動支援の申請状況について
- ・集会施設等の感染防止対策支援の申請状況について

[市民病院]

- ・IDNOW の予約について

[神岡振興事務所]

- ・4 連休の施設利用実績について
- ・ワクチン職域接種情報について

3. 今後の方針について

- ・無症状 PCR 検査の無料化について
→新聞等では十分に伝わらないことが予測されるため、HP に調べやすく掲載すること
- ・特産品や土産等の動きについて
→随時状況をよく把握し、次の対策などを早急に検討すること
- ・その他
→ワクチンと検査の状況や飲食店等の経済状況を注視すること

4. その他

次回会議開催予定:令和 3 年 8 月 4 日(水曜日)8 時 30 分～